

2008年

春号

さざんかの郷 福祉情報誌

ほのぼの生活

発行 高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」 三木市吉川町大沢418番地 TEL.0794-72-1170 FAX.0794-72-2355



春うらら...
いつもこんな気持ちで
いたいですね!

デイサービス(本館)

日本人はやっぱり 着物が落ち着くな～!



偶数月に1回「吉川カラオケサークル」の方と共に、日本舞踊「白梅会」の方たちが来られます。大正・昭和初期の時代には、何かの時はいつでも着物であり、田舎芝居が身近にあった、その質しくも平和な時代を思い出されるようです。利用者の方々は、それぞれ輝いていた青春時代をふと思い起こしながら、一挙手一投足を凝らして見ておられました。



「歌は世につれ人につれ」と言いながら、手拍子をしながら楽しんでおられる利用者を見て、歌や踊りは昔から親しまれてきたのだなど、改めて感じられた1時間でした。みなさん、ありがとうございました。

デイサービス別館 さざんかデイサービス

こんなことしてます!



デイサービス別館では、ちぎり絵をしたり、ティッシュの空箱をどれだけ積めるか競ったりと毎日楽しんでいます。



節分に...

節分に皆さんと一緒に、巻ずしを作りました。「上手に出来るかしら」「昔はよく巻いていたのよ」と口ぐちに言いながらも手際よく巻かれ、昼食にみんなでおいしく頂きました。



吉川高校3年生(ボランティア実践) 15名とのお別れ会



さざんかの郷にとって第9期生となる15名が、平成19年5月から9回目最終日となる平成20年1月18日(金)に、楽しい演芸お別れ会を催してくれました。今年は先生も参加して頂き、大いに盛り上がりました。



管理栄養士 淳ちゃんからの メッセージ



今年は、雪が多かったですね。寒い時、体はギュッと縮こまっていますが、春になると暖かくなり、気が体の外に向い始めます。

食材では、菜の花やふき、うどなどの山菜をはじめアクの強い野菜が出回ります。これは、眠っていた体を目覚めさせるためです。

春は、昔から「木の芽どき」と言われるように情緒不安定にもなりがちです。体のバランスをうまくとれず、体調がすっきりしないのが特徴です。

だから、香りのいい野菜を食べて、気をめぐらせ、おだやかな気分で過ごしてみてもどうでしょうか?



思い出アルバム



もちつき大会

毎年恒例の「もちつき大会」を、みんなで賑やかに行ないました。もちつきショーも、お年寄りが昔されていたようにはいきませんが、笑いあり、喜びありで本当に楽しかったです。



新年祝賀



ごせるようにお祝をしました。

お楽しみ会で「ティア」南京玉そして、職員にした演芸が一時でした。ありがとうございました。



特養(本館)

豆まき



特養(本館)では、節分の豆まきをしました。赤鬼の迫力に、みなさん目を丸くしておおよろこび!

毎月恒例『お楽しみ誕生会』



毎月その月の誕生日の方をお祝する『お楽しみ誕生会』の様子です。

ささなかの郷が開設した平成9年から入居されている方もおられます。11年過ぎた今でも、まだまだお元気ですよ!

特養(ユニット)

節分

2月3日、ユニット特養でも、節分の豆まきを行いました。

赤オニにめがけて、「オニは〜外! 福はうち!」と皆さん一生懸命豆をまいておられました。そして最後に歳の数だけ豆を食べるのですが、歳の数だと皆さん数が多いので、半分くらいにしておきました。



『悪い人はおらんか〜!』『きゃ〜!』



うわー、オニはあっちに行つてよ!! こっちにこないで!!

カラオケ

この日は、地域交流スペースにてカラオケを行いました。皆さんレパートリーが多く、職員が知らず教えてもらう場面もありました。皆さん手拍子打ちながら、他の方が歌うのを聞かれています。



配食サービス

平成17年11月から、三木市「食の自立支援事業」(配食サービス)として、週3回の夕食を利用させていただいており、ひとり暮らしの高齢者の方は、大変喜ばれています。そのお弁当を、当初から「ボランティア広場よかわ」の善意あるボランティアさん方に、交替で配達していただけてきました。

しかし、諸事情により4月からは、「三木市シルバー人材センター」へその配達をお願いすることとなりました。配達に携わっていただいた地区福祉推進委員を中心とした「ボランティア広場よかわ」のみなさん、長い間、雨の日も風の日も、そして雪の日にも、本当にありがとうございました。

こころのせんとく

為せば成る 為さねば成らぬ何事も

何事もやろうとする決意さえあれば、どんなことでも成就できる。何もしようとしなければ、いつまでたっても何もできないままである。

【念力 岩をも通す】



平成20年1月5日(土)

今年も干支の始まりの、平成20年と大きな節年です。また新たな年で、今年も楽しく過しましょう」とみんなでお

今年も「まるごとボランの「にこにこことんぱ、笑いと、元気をテーマ盛り上がりっぱなしのティアさん、ありがと



あすなろ作業所音楽交流会

平成20年2月15日(金)

毎年この時期に恒例となってきました「あすなろ作業所のみなさんとお年寄りとの音楽交流会」。お年寄りが大好きな歌をたくさん歌ってくれました。また来年も楽しみにしていますよ!



ひなまつり会

平成20年3月3日(月)

上古川地域の地区福祉推進員のみなさんが、今年も来園!! 本当に楽しく感動的な演芸ばかりで、お年寄りは毎年この日を楽しみにされています。本当にありがとうございました。



ケアハウス

3階ケアハウスのテラスからは、吉川町の街並みや自然がこんなに美しく眺めることができます。

ここから見られる
空一面の「夕焼け」は
本当に素晴らしいと見とれて
しまいますよ!



訪問介護（ホームヘルプサービス）

私たちが住み慣れた自宅での生活を応援します！
これからもがんばります！！



ホームヘルパーが訪問し…

利用者が自宅において、1日でも長く自分らしく生活を送れる様にお手伝いさせていただきます。

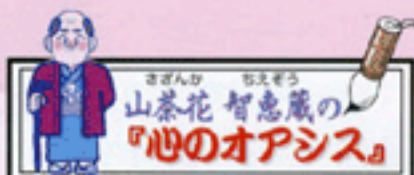
例えば…

- 身体介護に含まれるサービス**
・入浴、排泄のお世話・衣類、シーツの交換・通院の付き添い
- 生活支援に含まれるサービス**
・住居の掃除、洗濯、買い物・食事の準備、調理
このサービスの活用で、心の活性化を図り、引きこもりを防ぎ、家族介護の負担軽減を目指します。

トピックス デイサービスに新しい顔『トヨタ ラクティス』



広く社会に貢献されている日本財団（笹川陽平会長）の平成19年度「福祉車両助成」事業で、新車両トヨタ ラクティスが仲間入りしました。他の車両と同様、大切に使いさせていただきます。ありがとうございました。



『感性』—ホンモノを見抜く買い鑑識眼—

今世の中は、情報の氾濫・無責任の横行・自由のはき違え・リーダーシップの欠如などにより、「何が正しいか」「何をすべきか」「何をすべきか」のケジメがつかなくなり、人命軽視・汚職の横行・治安の悪化・詐欺や食品の虚偽表示・慢性的な自殺者など「混乱」「低送」が見られ、ある意味で「精神的危機」が感じられるのではないのでしょうか。

心理学者のマスローは、人間は本来「無邪気な目」を持っており、精神的に健康で充実した人生を送った人は、その究極の要素である「感性」を磨き続けたことにあると言っております。それが事実であるとすれば、今後どうすれば鈍った「感性」を取り戻し、よみがえらせる事ができるのかを、日々試行錯誤していくべきであると思えます。

具体的には、次のことからまず実践してみてもはどうでしょうか。

- ① 日頃から「自然体」になろうと心がける。
- ② マスコミ・インターネットからの情報を鵜呑みにしない。
- ③ 「偏見」で人を見たり、接したりしない。
- ④ 期待感や「欲目」だけで判断しない。
- ⑤ うまい話には乗らない。
- ⑥ 人と話をする時、肩書きや権威のある組織名等だけで判断せず、人柄を重視し、その得た情報は、他の情報と一応は確認する。

そして参考に、次のようなことを言っている人は、感性が鈍っていることに気づいていないかもしれません。

「そんなことは知っている」「そんなことは当たり前だ」「私が正しい」「お前が間違っている」「私の責任ではない」「まあ、こんなもんだ」「みんなと同じでいたい」「出来るだけのことは努力している」「他人はどう思うだろうか」「他にやりようがない」「変わっていると云われたくない」「前もやったがダメだった」

●正社員●パート

介護職員募集

人との出会いを大切にする家庭的な職場です。地域に密着し、充実した施設を目指しています!!

特別養護老人ホーム勤務

<正社員>

- 【勤務】 3交代制・夜勤有り
- 【給与】 当法人規定により優遇
- 【休日】 平均月8日・年間公休/100日

<パート>

- 【勤務】 8:00~18:30 ※時間相談に応じます。
- （資格） 18歳~55歳位迄 資格不問 ※詳細面談
- （募集） 履歴書（写真貼付）を下記迄郵送ください。
- ※面接日時等の詳細をご連絡致します。（担当/西澤）



高齢者総合福祉施設 社会福祉法人吉川福祉会

さざんかの郷 TEL 0794-72-1170